

ぼてじゃこトラスト

滋賀の魚つかみ文化を次世代につなぐ活動

<設立>1996年

<会員数>82家族189名(内子供76名)

*)2025年11月1日現在

<活動拠点>大津市瀬田三丁目



主な活動内容

- 滋賀県内の魚類調査・研究
イチモンジタナゴの野生復帰
- 地域の環境は、地域で守る。をモットーに地域活動の道場・支援活動
- 離子で自然に親しみ、遊び、学ぶ「ぼてじゃこワクワクの活動
- スポンジエイジ世代(3~6才)や
他団体への支援活動

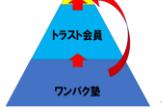
活動の体制・2つの柱

事務局・運営委員会

会長:川瀬成吾
企画・相談:北井俊夫・和歌子

滋賀の魚つかみ文化を次世代につなぐ！

「ぼてじゃこ」から琵琶湖の環境や
子どもの未来へつなぐ人材



トラスト会員(大人)

リーダー:田中治男

調査・研究活動

- イチモンジタナゴの野生復帰
- 滋賀県内の魚類調査・研究
- 地域活動の協働・支援活動

ワンパク塾(家族)

塾長:本田喜裕

環境教育・文化継承

- 親子自然体験教室
- 各種発表会で活動成果を発表
- 池での色々な実験

1. イチモンジタナゴの野生復帰

イチモンジタナゴ *Acheilognathus cyanostigma*

絶滅危惧IA類 (環境省)

絶滅危惧種 (滋賀県)

希少野生動植物種 (滋賀県)



滋賀県: ほぼ絶滅状態 (一部のため池に残るのみ)

⇒平安神宮に琵琶湖産の個体が残存

⇒琵琶湖博物館で系統保存

⇒ぼてじゃこトラストで約10年にわたり保存・繁殖

実験を実施、数千尾まで増殖させることに成功

【ぼてじゃこ池(2009年4月開設)】

イチモンジタナゴの繁殖



【二枚貝】



【保全池整備】



【専門家の指導の下、魚類学会放流ガイドラインに従って、復元放流を実施】



2. 協働・支援活動

(観察会・環境学習の指導、地域活動支援)

<基本思想>

①「地域の環境、地域の生態系は、地域の自分たちで守る」という土壤、風土が高まればと願い、年間20~30回指導に出向いていた

②ギブアンドテイク (無理を言うが、無理も聞く関係をきづく) 賴む方、頼まれる方の熱量・バランスを大事にしている。

③最後は、人と人の信頼感をつくるのが一番

3. ぼてじゃこワンパク塾の活動

【2025年度活動内容】

<定期活動>

- 5月サツマイモ植え
- 5月スponジエイジ生き物ふれあい教室
- 6月新免田んぼの生き物観察会
- 6月平湖外來魚釣り
- 7月富ヶ浜地引網
- 7月ナイトトラップ
- 8月高島和田打川雑魚捕り
- 8月永源寺キャンプ場川遊び
- 9月瀬田川外來魚釣り
- 9月オーバルでのカヌー教室
- 10月サツマイモ収穫

<その他活動>

- 4月実験: モンジタナゴと貝の関係木工作
- 5月夏野菜植え
- 12月大津絵 (予定)

永年続いている理由: 毎年定番化し、スタッフの負担を軽減している。

新免田んぼの生き物



宮ヶ浜地引網1



宮ヶ浜地引網2



4. スポンジエイジ、他団体への支援活動

